

平成18年5月29日(月) 厚生労働省健康局疾病対策課 担当者：秋野、橋本 電話(直通) 3595-2249

平成18年度H I V検査普及週間の実施について

1 目的

国や都道府県等が行う検査・相談体制の充実を図る取組みを強化することにより、国民のH I Vやエイズに対する関心を喚起し、もってH I V検査の浸透・普及を図るため、H I V検査普及週間を創設する。

2 期間

平成18年6月1日(木)から平成18年6月7日(水)まで

3 参加自治体

70自治体(別紙参照)

4 厚生労働省が実施する普及啓発

(1) 南新宿イベントの実施

検査見学、記者会見、街頭キャンペーン

(2) インターネットによる啓発

Y A H O O J A P A N「H I V検査普及特集(5/29~6/30)」

(3) ポスター・パンフレットによる啓発

①啓発ポスターの配布

○自治体、郵便局等 約44,000部

②交通広告の掲示

○J R、私鉄及び地下鉄各線 約42,000部

③啓発パンフレットの配布

○自治体、保健所、拠点病院 約200,000部

(4) エイズ予防財団の媒体による情報提供

① エイズ予防情報ネット(A P I - N E T)

○トップページでの周知

○検査実施機関の詳細、各機関の週間中のイベント等の紹介

② エイズリポート

○週間についての記事の掲載

2006年5月23日

 **HIV検査普及週間(6月1日～7日)** 
主唱:厚生労働省・財団法人エイズ予防財団

「エイズ検査は、あなたにも、必要です。」

検査見学・記者会見・街頭キャンペーンの実施

- 出席者 ● 赤松正雄厚生労働副大臣
● 田中好子氏(女優・日本エイズストップ基金運営委員)
- 開催日 5月29日(月)
- 開催時間 検査見学・記者会見 13時から 東京都南新宿検査・相談室
街頭キャンペーン 13時から 新宿駅東南口周辺
(副大臣・田中好子氏は、記者会見終了後、街頭キャンペーンに合流)

記者会見とイベント取材のご案内

わが国におけるHIV感染者・エイズ患者の新規報告数は、依然として増加傾向にあります。平成18年4月28日に開催されたエイズ動向委員会の発表によると、平成17年のHIV感染者・エイズ患者の合計は1,199件となっており、初めて1,000件を突破した前年をさらに上回り、過去最高となっています。

この危機的な状況に歯止めを掛けるため、厚生労働省と(財)エイズ予防財団では、赤松厚生労働副大臣による早期検査の呼びかけを行います。

是非ご取材くださいますようご案内申し上げます。

[お問い合わせ先]

厚生労働省健康局疾病対策課
加藤・橋本(内線2358)

財団法人エイズ予防財団
永井・中村(3592-1181)